

補助金等評価シート

●基本情報

補助金名	木津川市特殊詐欺等防止対策機器購入費補助金					所管課		総務課		
予算費目	款	総務費		項	総務管理費		目	諸費	事業	防犯事業費
	節	負担金、補助及び交付金		細節	補助金		細々節	木津川市特殊詐欺等防止対策機器購入費補助金		
総合計画	基本方針	5	災害などから市民を守り_安心・安全に暮らせるまちづくり					政策分野	12	防犯・交通安全
	施策	2	消費者保護					主な取組	1	消費者保護対策の推進
交付開始年度	令和3年度			継続年数		4 年		終了・見直し（予定）年度		令和8年度
法令・例規等	根拠法令									
	要綱名		木津川市特殊詐欺等防止対策機器購入費補助金交付要綱							
分 類	個人補助				市が独自の政策判断により、利用者等の負担軽減や個人に対する扶助的要素を含んだ支援を目的とするもの					
目 的	高齢者の特殊詐欺被害を未然に防止するため									
内 容	特殊詐欺等防止対策機器の購入に要する費用の一部について、予算の範囲内において木津川市特殊詐欺等防止対策機器購入費補助金を交付									
補助率の設定	定率補助		補助率		1/2			上限額		10, 000円

ガイドライン対象	対象	対象外の理由	
----------	----	--------	--

●補助金等の状況

予算（要求）額		令和6年度		令和7年度		令和8年度（予定）	
		640, 000円	前年度比	910, 000円	前年度比	840, 000円	前年度比
財 源	特定財源	0円		0円		0円	
	一般財源	640, 000円		910, 000円	142%	840, 000円	92%
	特定財源率（％）	0%		0%		0%	
補助対象事業費（見込）		1, 507, 942円		1, 803, 246円	120%		
補助金額（見込）		613, 900円		724, 800円	118%		
補助率（％）		41%		40%	99%		
補助の実績（予定）		交付申請のあった66名の申請者へ補助金を交付することで、高齢者の特殊詐欺被害を未然に防止することに寄与した。		交付申請のあった79名の申請者へ補助金を交付することで、高齢者の特殊詐欺被害を未然に防止することに寄与した。		交付申請のあった申請者へ補助金を交付することで、高齢者の特殊詐欺被害を未然に防止することを目指す。	
※ 団 体 運 営 費 補 助 の み	交付先団体における年間予算額						
	補助金の占める割合						
	令和6年度の交付先団体における繰越金						
	補助金と繰越金の割合対比						

●成果指標・目標

成果指標			
実績・目標値	令和6年度【実績値】	令和7年度【実績値】	令和8年度【目標値】

●基本的な視点

検証項目		チェック	特記事項
公益性	事業の目的や内容に明確な公益性が認められるか	○	
必要性	社会経済情勢の変化や市民ニーズ等の変化に的確に対応しているか	○	
	補助事業の目的や内容について、行政が関与する必要性があるか	○	
	所期の目的を達成しているものではないか	○	
有効性	補助事業の目的に沿った成果があり、補助金に見合った効果が挙げたか	○	
	行政の直接執行や事業委託と比較し、補助金等による執行が最適な手段か	○	
	少額又は申請件数の少ない補助金等について、継続する必要性があるか	○	
妥当性	補助対象経費は、公金で補助することが妥当であるか	○	
	補助率や補助金額は社会経済情勢等や他自治体と比較し適切か	○	
公平性	必要性などが検証されることなく、同一の対象者に対し、長期間にわたり補助金等の支出をしていないか	○	
	明確な理由なく補助対象者を特定するなど、交付先に偏りがないか	○	
透明性	個別の要綱が制定されており、申請に係る書類の様式が定まっているか	○	
	補助金の概要、要綱等がホームページ等に掲載されているか	○	

●見直し基準

項目		適否	特記事項
1	ガイドラインに基づく必要事項・申請書類等が規定された補助金等交付要綱が整備されている	○	
2	補助率は補助対象経費の1/2以下である	○	
3	対象経費を明確にしており、公共性・公益性が伴わない経費は対象外としている	○	
4	前金払・概算払を行っていない、もしくは、補助金等交付要綱に基づく規定・様式により適正な支給を行っている	○	
5	交付先団体の繰越金等を含めた財務状況からみて補助は適正である（団体運営費補助のみ）	－	
6	交付先団体の事務局が適切に運営されているか（団体運営費補助のみ）	－	

●今後の方向性

方向性	☒ 現行のまま継続 ☐ 見直し継続 ☐ 廃止	
現行のまま継続とする理由 見直し内容 又は 廃止理由	高齢化が進み対象者数が増加していることに加え、特殊詐欺被害は依然として増加傾向にあり、その手口も一層巧妙化しているため、現行のまま継続すべきと考える。	
見直し・廃止の時期		